

請願受理番号 1

農業試験場跡地利用計画に市民の意見を反映するよう求める請願

(総務委員会)

(要旨)

令和5年4月に「農林業の知と技の拠点」(防府市)に移転・統合された山口県農業試験場跡地について、山口市の主要計画等に基づくまちづくりの方向性を踏まえ、地域が抱える諸課題や地元要望を踏まえた施設や機能の導入に向けて「農業試験場等跡地利用検討協議会」にて検討が進められているところです。

大内地域が抱える防災、交通渋滞等の諸問題について検討されていると聞こえてきますが、大内地域に住む住民の意見を聞き取っていただける場がこれまで十分にありません。

山口市において、山口市民の意見が十分反映される場を確保してください。市議会においても、働きかけをしてもらえよう、請願します。

(理由)

(1)「農業試験場等跡地利用検討協議会」の構成

「農業試験場等跡地利用検討協議会」(以下、協議会)は、山口県と山口市の関係職員で構成されていて、地域住民の意見についてはどのように整理され、議論されているのかが私たち住民にはよくわからないものとなっています。

(2) サウンディング型市場調査の効果

サウンディング型市場調査は、事業検討の早い段階で民間事業者と公務機関が公募を通じて対話を行い、市場の動向や活用アイデアなどを把握する調査と言われています。この調査は、その場所の活

用の価値を高めるための調査であり、私たち住民が求めている「公共」としての地域空間を検討する効果を持つものではありません。

(3) お気軽講座の活用

私たち住民が山口県農業試験場の跡地利用に関する情報を知るために、山口市のお気軽講座を活用して、協議会の構成員でもある山口市スマートシティ推進室の方からの情報をお聞きするのが、数少ない場となっています。しかし、このお気軽講座は、情報提供の場であり、私たち住民が不安に思っている各種の問題点についての意見を計画に反映していただけるための場ではありません。

(4) 山口県農業試験場の跡地利用基本計画について

協議会では、山口県農業試験場跡地利用基本計画（以下、基本計画）を今年10月に策定する予定と聞いています。これまでの経緯から、私たち住民の意見が十分に検討されているとは考えられない中で基本計画が策定されることに今後の地域での生活を考える場合、大きな不安が残ります。

(5) 意見

以上の理由により、大内地域を中心とした市民の意見を基本計画に反映させることが、よりよいまちづくりと、行政と市民との信頼関係構築につながると思います。そのため、私たちの意見を反映させる場を設けていただけるよう、貴議会にお願いいたします。

令和6年6月5日

提 出 者

山口市大内中央二丁目2-47

大内畑小組サークル

代表 石 原 晃 子 ほか1人

紹 介 議 員	大 田 たける
紹 介 議 員	尾 上 頼 子

山 口 市 議 会 議 長

入 江 幸 江 様